

カナル型ヘッドホン「TH-F4N」(既発売) ハイレゾリューション・オーディオ適合に関するお知らせ

この度、弊社は、カナル型ヘッドホン「TH-F4N」(既発売)が、一般社団法人オーディオ協会が定めるハイレゾリューション・オーディオ(以下ハイレゾ)の定義(<http://www.jas-audio.or.jp/jas-cms/wp-content/uploads/2014/06/doc14061201.pdf>)に基づく高域再生性能(40kHz以上)を満たしている事をお知らせ致します。



これまで弊社は、ヘッドホンにおける測定基準を一般的な条件よりも厳しく社内基準を設定し、それに基づいた情報を開示してまいりました。今年6月(社)日本オーディオ協会により、ハイレゾの定義が設定されたことに伴い、一般的な-10dBの条件下における周波数特性(3.5Hz~45kHz)を新たに開示致します。今後は、本機を改めてハイレゾ対応商品として再導入致します。



また、再導入に併せ、本日より「TH-F4N」のご購入者を対象に、ヘッドホンアンプ内蔵USB D/Aコンバーター「NANO-D1」などが当たる《豪華プレゼントキャンペーン!》を実施いたします。

● 「TH-F4N」の周波数特性(新規開示情報:下線部分)

3.5 Hz ~ 35 kHz (-3 dB)

3.5 Hz ~ 45 kHz (-10 dB) ←ハイレゾ定義をクリア

本機は、音茶楽株式会社とのコラボレーションにより、昨年10月2日に発売した耳栓型のヘッドホンです。人間の耳は、管状の外耳道を通り鼓膜に届いた空気振動を、音として聞きとります。しかしヘッドホンで外耳道の入り口が塞がれた場合は、管状という構造から閉管共振が発生し、高い周波数の特定帯域が強調され、キツイ音色に聴こえてしまいます。本機は、閉管共振の影響を極力抑える為、音茶楽(株)開発の音響特許技術「ツイン・イコライズド・エレメント方式」を搭載しました。2つのドライバーエレメント(ドライバーユニット)を対向して配置させ、一般的な外耳道の長さに合わせた位相補正パイプで接続することにより、不要な音の強調を抑えます。これにより、あたかも高級スピーカーで試聴しているかのような不自然さの無い澄み切った音質を実現します。

●「TH-F4N」商品概要

商品名	発売日	希望小売価格
カナル型ヘッドホン「TH-F4N」	2013年10月2日	オープンプライス

市場推定価格：50,200円前後（※今回の発表による価格への影響はありません。）

●Olasonic カナル型ヘッドホン「TH-F4N」ご購入者特典 《豪華プレゼントキャンペーン!》の概要

期間内に TH-F4N をご購入されたお客様に、抽選にて、ヘッドホンアンプ内蔵 USB D/A コンバーター「NANO-D1」などをプレゼント。

○購入対象期間： 2014年9月8日(月)～2014年10月31日(金)

○対象機種： カナル型ヘッドホン「TH-F4N」

○プレゼント賞品及び当選者数：

- A賞： Olasonic ヘッドホンアンプ内蔵 USB D/A コンバーター「NANO-D1」(B) 3名
- B賞：(株)学研パブリッシング「Olasonic 完全読本」(付録あり) 5名
- C賞：(株)ステレオサウンド「DigiFi No.15、No.16」(付録あり) 5名

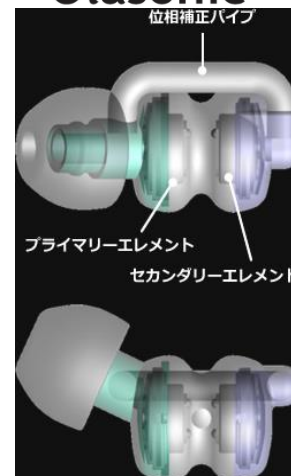
○応募方法： 2014年9月12日～2014年11月5日の期間に Olasonic ホームページのキャンペーンサイトからお申し込みください。(詳細は、弊社キャンペーンサイトをご参照ください)
http://www.olasonic.jp/campaign/201409_thf4n.html

「TH-F4N」の特長（※周波数特性以外は、発表時と同内容）

- 1： canal型ヘッドホン特有の閉管共振による高い周波数帯域の「キツイ音」を補正する「ツイン・イコライズド・エレメント方式」を採用

canal型ヘッドホンでは、外耳道をヘッドホンで塞ぐことになり外耳道内の有害な閉管共振が発生します。サシセソが強調された「キツイ高音」と言われる理由です。本機は、「ツイン・イコライズド・エレメント方式」を用いる事により耳への装着時の特性の変化を補正し、耳に優しく心地よい音が再生出来ます。この方式は、2つのドライバーエレメント（ドライバーユニット）を対向させて配置し、エレメント間を位相補正パイプで接続。このパイプの長さを外耳道の長さに合わせる事で不要なピークを抑え、付帯音の無い澄み切った音質を実現します。

楽音茶 ×
Olasonic



- 2： ツインドライバーによる低音再生能力の大幅な向上

Φ10mmドライバーエレメントを2個使用する事により、Φ13.5mm相当の大口径エレメントと同等な振動板面積を確保し、重低音域を余裕でドライブします。

- 3： ドライバーエレメントの不要な振動を排除する背面对向型レイアウト

2つのドライバーエレメントを背面对向させて配置する事で、振動系の反作用による不要な振動を抑制。メカニカルなアースの実現により今までに無い重厚な低音とクリアで繊細な高音が得られます。

- 4： 徹底した防振処理による鮮明な音質

センターキャビネットには制振効果のある M2052 制振合金粉体塗料により防振処理を行い、併せて位相補正チューブにも防振塗装を施す事により今まで聴こえなかったかすかな余韻まで美しく再生します。

- 5 : 「コンプライフォームイヤチップ」採用により、不快なタッチノイズを軽減 (注)ENTRY SHOP (<http://www.entry-shop.com/comply/>)にて販売中。
- 6 : タンジェンシャルレス振動板を採用、歪み感の少ないクリーンな中高音域を実現
- 7 : 最大エネルギー積 400 kJ/m^3 (50MG0e)の強力なネオジウムマグネットの採用と、併せてプレートとヨークの電磁純鉄の採用で強力な磁気回路を構成
- 8 : プレートとヨークに銅メッキ処理を施し磁気歪みを低減

「TH-F4N」主な仕様

エレメント	Φ10mmダイナミック型×2 (片c h当たり)
音響方式	ツイン・イコライズド・エレメント方式
出力音圧レベル	104dB SPL/mW
周波数特性	3.5Hz～35kHz <u>(-3dB)</u> <u>3.5Hz～45kHz (-10dB)</u>
最大入力	400mW
インピーダンス	18Ω
質量	約18g
プラグ付きコード	1.2m (Y型) Φ3.5mm 金メッキステレオミニプラグ
付属品	コンプライフォームイヤチップ T-200Lサイズ (Mサイズは本体に装着) クロス、収納缶、取説兼保証書

※：仕様及び外観は改良等の為、予告無く変更する場合があります。

お問い合わせ先

株式会社 東和電子 **Olasonic** サポートセンター

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-18-2 ワッティールビル 4F

Tel.03-6303-9814

メール support@twa.co.jp

ホームページ <http://www.olasonic.jp/>

Facebook公式ページ <http://www.facebook.com/olasonic>